

アキバで 遺伝学

国立遺伝学研究所 公開講演会 2014

2014年11月1日(土) **参加無料**

12:30~16:30 (12:00開場)

秋葉原コンベンションホール JR秋葉原駅電気街口より徒歩1分
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

お申し込み www.kokai-koenkai.jp

<講演>

自然が創った名建築、細胞のお話

木村 暁 准教授(構造遺伝学研究センター 細胞建築研究室)

なぜ細胞はDNAを正確に複製できるのか?

鐘巻 将人 准教授(新分野創造センター 分子機能研究室)

マウスで迫る「こどもの脳の発達のしくみ」

若里 琢治 教授(個体遺伝研究系 形質遺伝研究部門)

<研究者と語ろう>

遺伝研の教授陣が会場に集結!

研究室と総合研究大学院大学・遺伝学専攻を紹介します。



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立遺伝学研究所

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111 TEL.055-981-6707(代表) 055-981-5873(広報)

国立遺伝学研究所(遺伝研)は、生命科学分野におけるナショナルセンターとして世界の最前線で研究を行っています。また、大学院(総合研究大学院大学・遺伝学専攻)を併設し、研究者を目指す大学院生に充実した学習環境を提供しています。

<http://www.nig.ac.jp/>

遺伝研

→ 検索

国立遺伝学研究所・公開講演会2014 アキバで遺伝学



プログラム

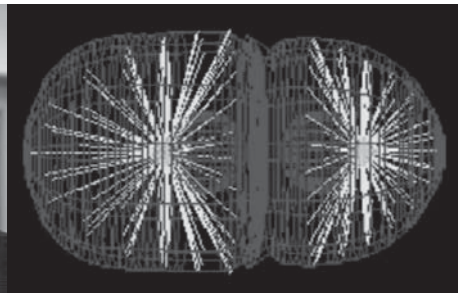
12:30 ごあいさつ 桂 勲 所長

12:40 講演1

自然が創った名建築、細胞のお話

木村 暁 准教授(構造遺伝学研究中心 細胞建築研究室)

「細胞」は生命の最小単位であり、例えばヒトの体は数十兆個の細胞が集まってできています。細胞を顕微鏡で眺めると、その中はダイナミックかつ秩序だて動いて「生きている」ことを実感できます。その動きや形の秩序はどのような原理で生み出されているのでしょうか？細胞の建築学というユニークな切り口で紹介します。

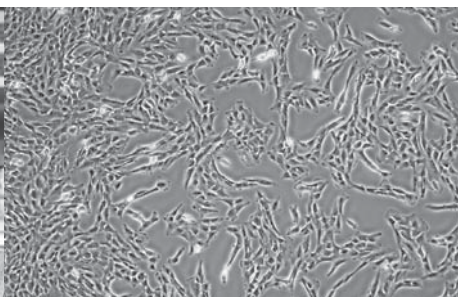
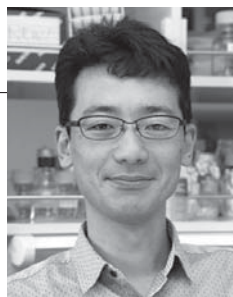


13:20 講演2

なぜ細胞はDNAを正確に複製できるのか？

鐘巻 将人 准教授(新分野創造センター 分子機能研究室)

みなさんの体内では、信じられないほどの長さのDNAが日々複製されています(その長さは当日お話ししましょう！)。DNAの複製エラーは、細胞死やがん化の原因になるため、細胞は問題が生じたときに正常に修復する方法を持っています。私たちが解き明かそうとしているDNA複製と修復の関連性と、それに迫る研究法についてお話ししたいと思います。



14:00 休憩

14:10 講演3

マウスで迫る「こどもの脳の発達のしくみ」

岩里 琢治 教授(個体遺伝研究系 形質遺伝研究部門)

ヒトの脳表面の大部分を占める大脳皮質には複雑な「神経回路」があり、これによって知覚・運動・思考・記憶などの高度な情報処理が行われます。生まれたばかりでは大脳皮質の神経回路は未熟ですが、その後、様々な刺激をうけて発達します。そのとき脳の中では何が起きているのでしょうか？マウスを用いた研究を紹介します。



14:50 研究者と語ろう

研究室パネル展示では、遺伝研の教授たちが会場に集まり、進行中の研究についてお話しします。併設大学院(総合研究大学院大学・遺伝学専攻)の紹介もあります。生命科学に興味のある方、大学院進学をお考えの方、気軽にどんどん質問してください！



16:30 終了

参加ご希望の方は、事前申し込みをお願いします。

申し込み先

www.kokai-koenkai.jp

イベントの最新情報、講演者インタビューも掲載中！

